

令和5年 2月 10日

令和4年度 社内監査（事業者自己評価）

一般社団法人 あまね

多機能型事業所いーはとーぶ

○就業中の職員で評価を行いました。

- 1, よくできている。
- 2, まだ改善の余地があり満足できていない。
- 3, 改善の必要がある。
- 4, わからない

以上の4段階で評価しました。多数の職員が2・3と評価した項目については、改めて改善に向けての対策を検討しました。

4と評価した項目については職員への実施状況を周知いたしました。

担当 一般社団法人あまね 堤 恵子

	評価者 チェック項目	管理者	佐竹	有岡	江口	大賀	中元寺	木塚	中園	大串			職員からの意見	改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係上適切であるか	3	2	1	2	2	1	1	1	2			<ul style="list-style-type: none"> <li>生活介護の居室が新しくできるので改善されると思う。</li> <li>手狭に感じる時がある。</li> <li>夏休み等、一日の利用者さんが多い時の居場所が今は、ミーティングルームでの活動で狭く感じることもあるので環境の工夫で改善すると思います。</li> </ul>	制度的に10人あたりの面積は確保しているが、物理的に狭さを感じるため必要に応じて、静養室等も使用している。来年度は、生活介護の訓練作業室を増築するため、狭さは改善していく。
	2 職員の配置数は適切であるか	1	1	1	2	1	1	1	1	2			<ul style="list-style-type: none"> <li>どんぐりの帰りの時間が集中し、その時間帯だけ一気に忙しくなり、スタッフがその時間帯だけ手広いにもう一人入っていただくと、返し忘れなどの改善につながると思います</li> </ul>	基準配置以上に職員については加配している。しかし、重心児者を主にお預かりしている特徴や、送迎などで物理的に人員不足になる場合も散見される。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1			
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参加しているか	1	1	1	1	1	1	1	1	1				日々の療育や発達支援を実施する過程で改善しなければならない事項があれば、会議を開催し職員と認識の統一を行なっている。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	1	1	1	1	1	1	1	1	1				年に1回アンケートを実施し、意見を頂いている。結果はホームページに掲載している。職員への共有を行っている。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	1	1	1	1	4	1	4	1	1				ホームページに公開している
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	3	1	4	1	4	4	1	1	1			・外部評価をされているかを把握していません	第3者評価は社会福祉協議会との調整が必要であり、社会福祉協会以外の事業所評価は無効である。第2者評価について、職員の認識が薄い
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	1	1	1	1	1	1	1	1	1				毎月社内研修を行っている。今年は自閉症支援についての基礎的研修も年間を通しておこなった。

	評価者	管理者	佐竹	有岡	江口	大賀	中元寺	木塚	中園	大串		職員からの意見	改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
														チェック項目
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上通所支援計画を作成しているか。	1	1	1	1	1	4	1	1	1		定期的に会議を行い、利用者様や保護者様の要望を確認したうえで計画の作成を行っている。今後、より個別性を生かした計画の作成に取り組んでいく。	
	10	利用者の適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	3	1	4	1	1	2	1	2	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>標準化されたアセスメントツールを使用しているかわかりません</li> <li>標準化されたアセスメントツールの強化が必要</li> <li>アセスメントツールは用意していない。今後活用できるものがあるならば検討してもよいかと思う。</li> </ul>	重心クラスもあり、標準化されたアセスメントツールでは障害特性の違いがあるので難しい場合がある。自社独自のアセスメントツールを使用し基本情報の収集を行っている。重心以外は特性に対応したアセスメントツールを使用している	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	1	1	1	2	1	2	1	2	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>チームカンファレンスが必要</li> <li>活動プログラムの立案については保育士を中心としながらも様々な職員がアイデアを出し行っている。チームでの立案が必ずしも出来ているわけではない。</li> </ul>	プログラムの立案はチームで行っているが、その後の修正・変更内容を全体で共有することが難しい事があった。今後定期的にケース会議を行い、計画の共有を行っている。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	1	1	1	1	1	1	1	1	1			季節ごとにイベントをおこなったり、担当を定期的に変更するなどしている
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	2	1	1	1	1	2	1	1	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>細やかな設定が今後必要</li> </ul>	長期休暇に入る前に、クラス会議を実施し、イベントや療育に関するの打ち合わせを実施している。季節に合う計画を行なっている。	
	14	利用者の状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで通所支援計画を作成しているか	1	1	1	1	1	1	1	1	1			利用者の特性に合わせて通所支援計画を作成できている
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	2	1	2	2	1	2	1	2	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>送迎もあるので、職員全員では出来ないが、役割をホワイトボードに書いたり、あとで伝達するなどして確認しているときが多い。その形で徹底していければと思います。</li> <li>打ち合わせ時間の確保が必要</li> <li>当日や前日の支援開始前の話し合いは出来ない。勤務時間、利用者の来所時間が異なり毎回の実施は過かしいところもあると思う。可能であれば実施できると良いと思う。</li> </ul>	基本的には行えているが、送迎や会議などで午前中多忙な時は行えていないため、他職員に依頼するなどし、打ち合わせを行っている。	
16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	2	1	1	2	1	4	1	2	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>支援終了後の話し合いは出来ない。振り返りが出来るとよいと思うが、勤務時間の事情もある為現実的な難しさは課題であると思う。</li> </ul>	支援終了後は、職員の帰宅時間が異なるため、申し送り簿や、全体のメールなどで情報共有を実施している。		

	評価者	管理者	佐竹	有岡	江口	大賀	中元寺	木塚	中園	大串		職員からの意見	改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	2	1	1	1	1	1	1	1	1		個別支援計画の目標を意識した記録や評価がなされていない。計画を意識した記録や評価を行うよう周知した。
	18	定期的にモニタリングを行い、支援計画の見直しの必要性を判断しているか	1	1	1	1	1	1	1	1	1		定期的にモニタリングを行い、計画の妥当性を判断している。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	1	1	4	1	1	4	1	1	1		・よく把握しておりません ガイドラインを知らない職員へは周知を行った。活動は複数組み合わせさせて行っており、さらに自社サービスも行っている。
	20	相談支援事業所のサービス担当者会議にその利用者の状況に精通した最もふさわしい者が参加しているか	1	1	1	1	1	1	1	1	1		利用者の状況を理解している職員が参加している。更に、相談支援員の参加も促している。
	21	学校との情報共有(年間計画)・行事予定等の交換、子供の下校時刻の確認等)連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	1	1	1	1	1	1	1	1	1		学校との行事予定や下校時間などの情報共有は密に行えている
	22	医療的ケアが必要な利用者を受け入れる場合は、利用者の主治医等と連絡体制を整えている	1	1	1	1	1	1	1	1	1		利用開始時に主治医に看護指示書を依頼し、主治医の指示の元、医療的ケアを実施している。利用中の様子は医師報告書を作成し、報告・相談できている
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	3	1	1	1	1	2	1	2	1		・他事業所との連携をすすめる必要がある ・引っ越し等により利用が開始した子の以前利用していた通所施設での様子は保護者からの口頭確認のみの場合がある。転園先の通所施設についても退所前情報共有の場の確保が出来ればと思う。
24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供しているか	1	1	1	1	1	4	1	1	1			相談員や学校からの情報を得ないと移行支援会議の開催が難しいが、情報があれば率先して参加している。

	評価者 チェック項目	管理者	佐竹	有岡	江口	大賀	中元寺	木塚	中園	大串	職員からの意見	改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
適切な支援の提供	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	1	1	4	1	1	4	1	1	1	・よく把握しておりません	今年度より外部研修を再開できた。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子供と活動する機会があるか	2	3	1	1	2	2	2	2	1	・コロナ禍の為機会をつくるのが難しい ・コロナ禍で難しい状況である ・コロナ禍で難しい状況 ・コロナになり、交流の機会は激減している。ようやく交流できる保育園が見つまっているので今後の交流に期待している	コロナにより行えていなかった。状況が落ち着けばまた活動の機会を設けていく予定。
	27	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか	1	1	4	1	1	4	1	1	1	・参加されているかわかりません	代表者が可能な限り参加している
	28	日頃から利用者の状況を保護者と伝え合い、利用者の発達状況や課題について共通理解を持っているか	1	1	1	1	1	1	1	1	1		送迎の際にデイや家庭での様子を伝えあい、共通理解に努めている
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	3	1	1	1	1	1	1	1	1		保護者へのトレーニングはその家庭環境なども踏まえなければならぬため容易ではない。保護者からの支援内容について相談がある場合はその都度アドバイスを行っており、必要と認められた場合相談員と情報共有を行なっている。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	1	1	1	1	1	1	1	1	1		契約の際に丁寧な説明を心掛けている
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ必要な助言と支援を行っているか	1	1	1	1	1	1	1	1	1		悩み等の相談があった際は丁寧に対応し、必要な助言ができるよう対応している
32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	2	2	1	2	2	1	2	2	1	・参加される保護者が少ない ・コロナ禍で難しい状況である ・zoomで参加者を募るも参加される保護者様が少なく感じる ・コロナになり対面での保護者会の実施は出来ていない。父母同士が交流できる機会を持つことが出来ればよいと思う。	保護者同士の連携を支援していきたいと思っているが、ここ3年はコロナにより行えていない。状況が落ち着けばまた開催していく予定	

	評価者	管理者	佐竹	有岡	江口	大賀	中元寺	木塚	中園	大串		職員からの意見	改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	33	利用者や保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、利用者や保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	2	1	1	1	1	1	1	1	1		苦情対応体制はマニュアルを作成し、整えている。しかし、対応の仕方が職員によりまちまちなことがあるため、周知・教育していく必要がある
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を利用者や保護者に対して発信しているか	1	1	1	1	1	1	1	1	1		保護者向けのお便りを定期的に発行し、情報を発信できている
	35	個人情報に十分注意しているか	1	1	1	1	1	1	1	1	1		配慮できている
	36	利用者や保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	1	1	1	1	1	1	1	1	1		配慮している
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	3	4	2	1	2	1	2	1	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍でもあり、地域の方をお招きする行事開催なども難しかったが、収束後はお寺の行事へ参加したり他行事の計画も出来たらと思います。</li> <li>・コロナ禍で難しい状況である</li> <li>・コロナ禍で難しい状況</li> </ul>	開かれた運営を行いたいと心掛けているが、コロナによりここ3年ではできていない。状況が落ち着けば企画開催をおこなっていく予定
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	2	1	1	1	1	1	1	1	1		各種策定はしている。保護者会等で周知できる機会を作っていく
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	1	1	1	1	1	1	1	1	1		年2回、消防署と協力し、避難訓練を実施している
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	1	1	1	1	1	1	1	1	1		年1回虐待防止の研修を開催している

